

台風被災 レイテ島支援

誠之館高(福山)生徒ら出発

AMD A
活動連携

昨年11月に台風30号で被災したフィリピン・レイテ島タクロバン市の復興支援のため、広島県立福山誠之館高(福山市)の生徒2人が24日、国際医療ボランティアAMD A(本部・岡山市)のスタッフらとともに現地に向けて出発した。文房具などを被災地の高校に贈る。

AMD Aと同県教委が連携して取り組む活動の一環で、2人は生徒会長の2年末永千恵さん(17)、生徒会役員(1)の1年楠武之君(16)。AMD Aの看護師山崎希さん(41)と同高の高山望王幹教諭(52)が同行する。一行はJR岡山駅で合流し関西国際空港からマニラに向かった。27日にタクロバンのスカンジナビアン高を訪れる。

しているノートなどの文房具と傘で、マニラで購入。同県内の高校33校が集めた義援金約84万円を充てる。スカンジナビアン高では折り紙などを通じて交流する。29日に帰国予定。末永さんは「責任を

持って寄せられた善意を届ける」とし、楠君は「時間がたつてもフィリピンのことを忘れないという気持ちを保ちたい」と話した。

AMD Aによると、今年1月現在、台風30号によるフィリピンの

死者は約6200人、行方不明者は約1700人。

(岸研一、多田和代)



フィリピンの被災地へ向かう福山誠之館高の楠君(左)、末永さん(左から2人目)ら。JR岡山駅

贈るのは現地では不足